

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツトレーナー学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	生理学Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時間	後期	教室名	
担 当 教 員	岡本 麻由	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
生理学の第9章の骨の生理から第17章の発育と発達および競技者の生理学的特徴・変化までを行う。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験:100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
生理学改訂第4版(南江堂)						
《授業外における学習方法》						
生理学を学ぶことにより体の機能を理解するために予習を行う。						
《履修に当たっての留意点》						
生理学はヒトの身体の正常機能を理解する、重要な科目です。この理解は2年次以降の一般臨床や病理学等の科目においても必要となります。1年間、頑張ってください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	消化器系の役割と構造、運動様式を理解する。	生理学改訂第4版 (南江堂)	教科書を読み配布プリントを使って復習する。	
		各コマにおける授業予定	消化と吸収①(A消化器系の構成とはたらき)			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	口腔から大腸までの消化吸收機序を理解する。	生理学改訂第4版 (南江堂)	教科書を読み配布プリントを使って復習する。	
		各コマにおける授業予定	消化と吸収②(B食物の消化と吸収)			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	糖質・タンパク質・脂質の消化から吸収まで説明できる。	生理学改訂第4版 (南江堂)	教科書を読み配布プリントを使って復習する。	
		各コマにおける授業予定	消化と吸収③(C各栄養素の消化と吸収)			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	熱産生・熱放散の機序を理解する。	生理学改訂第4版 (南江堂)	教科書を読み配布プリントを使って復習する。	
		各コマにおける授業予定	体温とその調節①(A体温 B熱産生 C熱放散)			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	体温調節の機序を理解する。	生理学改訂第4版 (南江堂)	教科書を読み配布プリントを使って復習する。	
		各コマにおける授業予定	体温とその調節②(D体温調節 E気候順化)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	発熱について説明できる。	生理学改訂第4版 (南江堂)	教科書を読み配布プリントを使って復習する。
		各コマにおける授業予定	体温とその調節③(F発熱とうつ熱)		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	細胞、組織の加齢現象について理解出来るようになる。	生理学改訂第4版 (南江堂)	教科書を読み配布プリントを使って復習する。
		各コマにおける授業予定	高齢者の生理学的特徴・変化①(A細胞、組織の加齢現象)		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者の生理的特徴について理解出来るようになる。	生理学改訂第4版 (南江堂)	教科書を読み配布プリントを使って復習する。
		各コマにおける授業予定	高齢者の生理学的特徴・変化②(B加齢による臓器機能の変化)		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者に多い疾患について理解出来るようになる。	生理学改訂第4版 (南江堂)	教科書を読み配布プリントを使って復習する。
		各コマにおける授業予定	高齢者の生理学的特徴・変化③(B高齢者に多い疾患・障害)		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者の歩行機能、平衡機能、反応時間について理解出来るようになる。	生理学改訂第4版 (南江堂)	教科書を読み配布プリントを使って復習する。
		各コマにおける授業予定	高齢者の生理学的特徴・変化④(C運動と加齢)		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	スキヤモンの発育曲線について説明できる。	生理学改訂第4版 (南江堂)	教科書を読み配布プリントを使って復習する。
		各コマにおける授業予定	発育と発達および競技者の生理学的特徴・変化①(A成長に伴うからだや運動能力の発達)		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	発育期の運動の影響について説明できる。	生理学改訂第4版 (南江堂)	教科書を読み配布プリントを使って復習する。
		各コマにおける授業予定	発育と発達および競技者の生理学的特徴・変化②(A発育期の運動不足・過運動の影響)		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	スポーツおよびトレーニングによる筋・心肺機能、神経機構の適応について理解出来るようになる。	生理学改訂第4版 (南江堂)	教科書を読み配布プリントを使って復習する。
		各コマにおける授業予定	発育と発達および競技者の生理学的特徴・変化③(B競技者の生理学的特徴・変化)		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	眼球運動と姿勢制御について理解できる。	生理学改訂第4版 (南江堂)	教科書を読み配布プリントを使って復習する。
		各コマにおける授業予定	発育と発達および競技者の生理学的特徴・変化④(B眼球運動と姿勢制御)		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	恒常性維持のしくみ、加齢やトレーニングによる変化・適応を理解出来るようになる。	生理学改訂第4版 (南江堂)	試験範囲を復習する
		各コマにおける授業予定	まとめ・試験		